

保護者各位

## 「自己評価のご報告」

日々の保育活動にご理解、ご協力感謝致します。

今年度もコロナウイルス感染症の流行に伴い、登園自粛のご協力ありがとうございました。また、胃腸炎やRSウイルス、手足口病等の感染症も園内で流行し、皆様にはご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。早めの受診のご協力や、お仕事の調整をして頂き、大変ありがたく思います。コロナ禍の中でも今年度は、運動会や2歳児の親子遠足で保護者の皆様に参加して頂ける機会を作る事が出来ました。お家とは違う子どもたちの様子、一生懸命頑張る姿を見て頂ける貴重な時間となりました。多くの保護者の皆様に喜んで頂けて、職員一同、大変嬉しく思います。

さて、先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計ができましたので、まず「保護者アンケート結果」、次に「職員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただきます、ここにご報告申し上げます。

### 1.保護者アンケート結果に関して

「保護者アンケート結果」アルタベビー美園東園		回答率:89.47%		
No	質問項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
1	当社の保育理念・保育目標について理解していますか	47.06%	47.06%	5.88%
2	職員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか	100.00%	0.00%	0.00%
3	職員の言葉遣いや態度、服装等は適切ですか	94.12%	5.88%	0.00%
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	94.12%	5.88%	0.00%
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	76.47%	17.65%	5.88%
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの職員の対応は信頼できますか	94.12%	5.88%	0.00%
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	94.12%	5.88%	0.00%
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	76.47%	23.53%	0.00%
9	当園に満足されていますか	88.24%	11.76%	0.00%

・項目 1 に関しましては、半数の方にご理解いただいておりますが、5割の方に届いていませんでした。職員は保育理念・保育目標を達成するために、年間計画や月案、週案、日案を考えています。そこから、年齢に合った活動を考え、ねらいや保育者の配慮、予想される子どもの姿を考えています。

当社の保育理念は「日々の丁寧な関りによって健全な生活習慣の形成を促し、明るく前向きな姿勢を保つとともに、自分らしく元気な姿でより良い人間関係を自ら求め、将来国際社会で活躍できる子どもを育てる。」と掲げられています。

アルタベビー美園東園の今年度の保育目標は「友だちや保育者と元気に遊び、心も身体も健康に育てる」、「言葉や表現活動に興味を持ち、豊かな感性を持つ」を目標としました。今年度は、保育を通して保護者の方に保育理念・保育目標が届きませんでした。来年度は、目標を保育に落とし込み、職員全員が同じゴールに向かっていけるようにしていきます。

・項目 2 については、「はい」と回答された方が100%でした。ありがとうございます。この結果に満足せず、継続してご満足して頂けるように、職員一同精進して参ります。

・項目 3 につきましては、ほとんどの方にご満足いただいておりますが、「どちらともいえない」と回答された方がいらっしゃいます。職員の言葉遣いや態度、服装を職員間で再度見直し、改善していきます。また、お気づきの点がありましたら、お声かけ下さい。

・項目 4 についてです。こちらもほとんどの方にご満足いただいておりますが、「どちらともいえない」と回答された方がいらっしゃいました。保護者の方に、登園時や降園時いつでも綺麗な保育園とっていただけるように、清掃を行い、整理整頓を意識していきます。まずは、子どもたちのロッカーの整理整頓、保育用品の整理、棚上の備品の処分や整理、壁面の剥がれがないかの確認等、保護者の方が玄関から見える所から始めていきたいと考えます。「玄関は家の顔」と言われるように、子どもたちの下駄箱の拭き掃除と、床の掃き掃除も日々時間を見つけて行うように心がけます。

・項目 5 につきましては、約3割の方が「どちらともいえない」及び「いいえ」と選択しています。今年度は、園内でコロナウイルスをはじめ、様々な感染症が流行しました。感染症が流行している、していないに関わらず、玩具の消毒や園内の清掃は毎日行っていますが、感染拡大を防げていないのが現状です。申し訳ございません。

ワンフロアで共同保育をしているので、感染が広まりやすい環境ではありますが、その中でも換気を行う、必要に応じて加湿をする、こまめな検温、体調の優れない子やいつもと様子の違うお子さんには早めの受診を促す等、職員が出来る事から始めていきたいと考えます。また、発熱や嘔吐等があった際は、対象のお子さんを隔離して様子を見ていきます。

また、安全対策の面では、今一度職員で園内を見渡し、危険な点がないかを確認したいと思います。同じエリアの園長先生にも園内を見に来て頂き、第三者の視点でご意見を頂き、改善していきます。その他、保護者の方から見て、危険だと感じる箇所がございましたら、園長または副園長までお知らせください。

・項目 6 については、「どちらともいえない」と回答された方がいらっしゃいました。怪我

の原因や、その時の状況等の説明が不足していることが原因ではないかとの意見がでました。今後は、職員の配置で死角がないようにし、「見ていなかった」という事が無いように徹底して参ります。また、大事なお子様の命をお預かりしているという気持ちを忘れずに、常に緊張感をもって保育をしていきます。

体調が悪くなった時や登園時のルールにつきましては、園内のみならず、エリアでも統一を図り、職員間で対応が違うということが無いようにしていきます。保護者の皆様には、お忙しい中お迎えの対応をして頂き、感謝しております。今後も引き続き、保護者の方と連携をとりながら、臨機応変に対応をしていきます。

・項目7についてです。こちらも「どちらともいえない」と回答された方がいらっしゃいました。お子さんの月齢に合わせて固さを調整したり、保護者の方にお家での食事の様子を聞いて進めております。来年度は更に食育に力を入れていこうと考えています。生きていく上で重要な「食」を子どもたちにもっと身近に感じてもらえるように、様々な食材に触れられる機会を作っていきます。保育園での食事について、ご意見、ご要望等ございましたら、お声かけ下さい。

・項目8につきましては、約3割の方が、「どちらともいえない」と回答されています。保護者の方に対して、きちんと対応できていない事に対して、まずは謝罪をさせていただきます。申し訳ございません。まずは職員の言葉遣いや態度を改善し、保護者の皆様からのご意見を真摯に受け止め、回答がその場で難しい場合は一度こちらで検討し、中途半端な回答をしないように徹底致します。要望等も、柔軟に対応できるように、園内又は社内で検討致しますので、引き続きお声かけ頂けると幸いです。また、職員間で話し合い、今後年二回程度コドモンのアンケート機能を使用し、匿名でご意見、ご要望を記入していただくのはどうかとの意見がでました。頂いたご意見、ご要望は職員会議の議題として挙げさせて頂き、早急に解決できるように努めます。こちらに関しましては、本部と相談させて頂き、実施が決まりましたら、ご案内させていただきます。

・項目9につきましては、回答して頂いた約9割の方にご満足頂けております。しかし、1割の方には「どちらともいえない」と回答されています。安全対策面や職員の対応等改善点等が今回のアンケートで沢山見つけられました。今後も、職員や保護者の皆様と子どもたちにたくさんの愛情を注ぎ、連携をとりながら、「ベビー美園東園で良かった」と思っただけのように努めて参ります。そして、来年度は回答者全員にご満足頂ける園づくりを職員一同目指していく事を目標にし、アルタベビー美園東園に関わる全ての人が満たされた気持ちで過ごせる様に日々精進します。

今回は、沢山の保護者の皆様にご回答頂きました。内容は、職員全員で共有し、会議の議題として協議させて頂きました。職員では気づくことのできなかった問題点が今回のアンケートで知る事ができ、いい機会となりました。この結果を真摯に受け止め、満足することなく、今後もより良い園づくりの為に、職員一同努めて参りますので、宜しくお願

致します。

## 2.職員自己評価に関して

### ・当社姿勢目標の順守に関して

姿勢目標の日々の振り返りとして、全社員が日々の業務後に日報を提出する取り組みを行っています。自分のその日の保育はどうだったかを振り返ることで、次の出勤の目標を立てる事が出来ています。全員が社内の一員としての自覚を持つことで、園内の環境もよくなっている事を実感しています。姿勢目標を全員が遵守することで、働いている職員が気持ちよく、風通しの良い環境になります。今後もこの取り組みを行い、保育の質の向上を目指します。

### ・コドモンを用いた保育計画に関して

コドモンを導入し、保育効率の向上が図れたと感じる職員が多くいました。新しい事に挑戦する事に抵抗のある職員、慣れるまで時間のかかった職員がいた事は事実ですが、全員でフォローし合いながら、効率の良い方法を見出してきました。月齢や年齢に応じたカリキュラムで保育が進められることは、保育士にとっても、子どもたちにとってもプラスとなり、良かったと思います。全員の成長段階をしっかりと見極め、コドモンを上手に活用し、更なる効率化を図っていきたいと考えます。

### ・保育の成果集(Libro)に関して

保育の成果集は、各自の保育の質の向上の為に取り組みました。各自、日々の保育の中で「感動を伴う保育の成果」の為にを行った環境設定や手順、今後の課題を投稿しました。これは5領域に則った成果を投稿しますが、自分の保育に足りないジャンルが明確になります。この結果を保育に生かしたかと問うと、生かしきれなかったと回答する職員が多かったので、今後は保育の質の向上の為に生かし、各自のスキルアップに繋げていきたいと思えます。また、他園の職員の投稿も見ることが出来るので、保育内容に悩んだときは参考にすることも出来ました。

### ・子どもとの正しい接し方(Luce)に関して

「子どもとの正しい接し方」、「丁寧な保育の手本」となるLuceですが、園内にラミネートしたものをいつでも保育士が見れるように掲示しています。毎月、その月の自分の保育はどうだったかを反省し、翌月に生かす事が出来ています。各自自己採点をし、翌月新たな気持ちで保育がスタートできるように、今後も活用していきます。子どもたちが伸び伸びと子どもらしく過ごせる為には、保育士にもストレスのない環境が必要です。日々の職員の心と体にも目を向け、時にはケアも出来るようにしていきます。

常勤保育士、非常勤保育士全員に実施した、自己評価のまとめです。大きく3項目に分けて、各自1年間を振り返りました。

今年度もコロナウイルス感染症により、保育の制限が続きましたが、その中でも毎日充

実した保育が提供できるように日々試行錯誤してきました。また、今年は全国で保育園職員による、虐待の悲しいニュースが多く取り上げられ、私たち保育士も日々考えさせられました。保護者の皆様が安心して預けられる保育園作りの為に、各自努力し、考え、時には悩んできた結果が表れています。自己評価をすることで、より良い保育が出来ると考えます。

来年度にこの自己評価を生かし、お互いに切磋琢磨していけたらと思います。

#### ① 遊びや生活の中で、楽しく人間関係を学ぶ(人間関係)

- ・子どもの気になったことは報告し、仕事の進行状況は連絡し、分からない事は相談する。
- ・他児同士の親しみのある関わりだが、トラブルや怪我につながりかねないと、未然に止めてしまうことがあった。線引きが難しいと感じた。
- ・相手に対しての接し方や優しい言葉かけなど、保育者が模範として示すよう心がける。
- ・子どもの性格等を理解し、個別の対応をしていく中で、色々な方法を試し、日々模索しながらそれぞれの児にとって最適な保育をしている。
- ・一人ひとりと目を合わせて会話する事に努め、子ども自身が話を聞いてくれている意識を持てるような接し方を行った。
- ・複数人に話かけられた際に、全員の話は聞けない為、一時的に対応できない事があった。
- ・トラブルが発生した際に、子ども同士で解決できるような声掛けを行った。
- ・気持ちよく仕事出来るように常に笑顔で挨拶したり、会話する事を心がけた。
- ・分からない事、相談したいことがあった時、いつでも話ができる関係を作りたいと思っている。
- ・パート職員にクラスの事を具体的に話をしたり、様子を伝える時間がなかなか作れなかった。補助に入ってくれた際に、その時々の様子をもっと伝えていきたいと思う。
- ・みんなで保育に携わる気持ちになれるよう、職員同士で挨拶だけでなくその日保育であった嬉しかったことや反省点を共有した。
- ・笑顔で接し、声を出して笑う事で子ども達にも楽しさを感じてもらい発達につながるよう努めた。
- ・登園時に保護者と離れる際、子ども達に、「おはよう、〇〇ちゃん、待ってたよ」とその子の名前を呼びスキンシップをとりながら不安や寂しい気持ちが少しでも和らげるように心がけた。
- ・気持ちや場面の切り替えが難しい子どもには急かしたり無理強いせず本人のペースで生活出来るよう見守る事を心がけた。しかし、集団生活の中では難しい時もあり、もどかしさを感じる。自分自身も心に余裕を持って子ども達と接していきたい。
- ・積極的に声を掛けてコミュニケーションを取ることで、言葉でのやり取りが出来るようになった。また、保育者や友達の名前を呼べるようになった。
- ・関わり方が分からない児・苦手な児に対しての声掛けを工夫し、上手く関わられるように

促した。

・「貸して」や「どうぞ」を身振り手振りで伝えられるように、分かりやすい見本を示した。

### 【反省】

子どもたちに対しての関わりはもちろん、職員同士でもコミュニケーションを取り、良い雰囲気の中で、保育が出来ていたと感じます。小規模園ということで、在籍している子どもたちを担任だけでなく、職員全員で情報共有しています。園内では全職員が毎朝確認する引継ぎノートを用意し、体調不良のお子さん、その日の出来事、引継ぎ事項等を全員で把握しています。今後もこちらを有効活用していきます。全員がお互いに感謝の気持ちを忘れず、一丸となって保育と業務に向き合い助け合っていきたいと思います。

保育士が子どもたちに寄り添う保育をする中で、トラブルが起きた時、起きそうなときの対応に悩んでいる職員が多い事がわかりました。保育士が間に入り解決したり、時には見守り、子どもたちが「良い事」と「悪い事」の区別が出来るように援助していきます。子どもたちと私たち保育士が関わる事を心から楽しみ、笑顔で接していくことを日々念頭に置いて人と関わる事の楽しさを伝えていけたらと思います。

## ②安全な環境を整え、日々の保育で感性を育む(環境・表現・言葉)

### 《環境》

- ・寝る場所を各クラスごと(0歳、1・2歳)に分け、落ち着いて眠れるように工夫した。子どもが目を覚ましてしまった時にすぐ対応出来る場所で見守った。
- ・自分がその日に入るクラスで自分が休んでいたときになにか変わったことや、留意すべきことがなかったか担任の先生に確認してから保育に入るよう心がけた。
- ・子どもが朝の身支度を自分で出来るように、靴から分かりやすいように出して置いておいた。
- ・子供達が安心して楽しく過ごせる様に、笑顔で接し、音楽をかけたりもして明るく楽しい雰囲気を作る様にした。
- ・安全に遊べる様に子供達の並び方や遊ぶ場所、遊びの内容にも配慮し、全体が把握出来る様に保育者の位置も気を付けた。
- ・遊んでいるおもちゃが室内で偏らないよう広げたり、自分の周りに子どもが集まりすぎていると感じた際には移動したりして周りで1人遊びをする子どもに影響が出ないように心がけた。また、自分の周辺を安全基地として利用し遊んでいる子どもがいる際にはその場にとどまり干渉しすぎないように見守った。
- ・常に子どもたちの動線を予測し、安全な保育環境を確保できるようにする。

### 《表現》

- ・近隣の図書館を活用し絵本や紙芝居などを常備することで、読み聞かせをたくさん取り入れることができています。

- ・子どもがブロックなどで作成したものに対して名前を聞いたりどのようなものかを話し一緒に思いを巡らせ想像力を養った。
- ・子ども達が分かりやすいように自分がお手本をまず見せて言葉の伝え方や物の使い方を知らせるようにした。
- ・朝の会や活動の合間で手遊び等を行うことで、歌が歌えるようになったり、手遊びが出来るようになった。
- ・毎月の製作や行事ごとの製作のおかげで、シール貼りやお絵描きが上手になった。まだ道具の使い方を理解出来ていない児がいるので、気を付けながら取り組んでいきたい。
- ・月齢に見合った言葉や表現を心がけたがマスクで口元が見えない為、言語を習得する時期の子ども達には発音や音声模倣の面で難しいと感じる場面もあった。ゆっくり話し、身振り手振りも入れながら分かりやすく理解してもらえるように努めた。

### 《言葉》

- ・自分の思いや要求を言葉で伝えるのが難しい子ども達には受け止められるよう代弁して確認し声がけしながら寄り添えるよう努めた。
- ・保育者からの一方的な言葉かけにならないよう、子どもたちからの話に傾聴した。相互理解を深められるよう心がけた。
- ・子どもの話す内容に耳を傾け意味の理解に努め、それに対する返答ができるよう心がけた。
- ・子供の分かりやすい言葉で具体的に話をする事を心掛けた。
- ・喃語に対して「楽しいね」「上手だね」などと反応を示してあげたりと、積極的に話しかけた。また、何を伝えようとしているのかを汲み取りながら、やり取りを進めた。
- ・簡単な言葉から始め、発語を促すことで「はい」「せんせい」「まんま」「ママ・ぱぱ」などの言葉が出るようになった。
- ・いつも明るく声をかけることによって、そこから会話に繋がられた。子どもとのコミュニケーションのきっかけになった。
- ・子どもの話に対して、同じような言葉で返すことが多かったので、子どもの話をしっかり聞いて、子どもの言葉も広がっていくように、内容にあった声がけを心がけたい。

### 【反省】

子どもたちが活動するうえで、動きやすい動線、環境構成を作るのは今後の課題でもあります。安全対策の面で、ご満足いただけるように再度園内を確認し、改善して参ります。

日々の保育の中で、製作活動はもちろん、今後はリトミックを行ったり、雨の日の室内活動の充実を課題とし、新しい活動もしていけたらと思います。自分の気持ちを素直に表現でき、表現する事は

恥ずかしくない事を子どもたちに伝えていきたいと考えます。

「言葉」の面では、保育士が特に力を入れてきました。0歳児は簡単な言葉を発する、1歳児はお友だちとお話する楽しさを知る、2歳児はお友だちとのやり取りを楽しむ等、沢山の成長がみられました。こちらは、保護者の方からも「お話が上手になって嬉しい」と喜ばれる事が多々ありました。今後も、子どもたちの言葉を引き出したり、やり取りを楽しむことを伝えていけたらと思います。

### ③安心できる環境のもと、自立を目指す(健康)

#### 《安心できる環境づくり：養護》

- ・おむつ交換時は一対一で向かい合う大切な時間。語りかけや触れ合いを行い子どもが心理的にも快く感じられるように心がけた。月齢が大きい子どもにはお手伝いをお願いして、出来たときには感謝を伝え達成感や思いやりを育んでもらえるように進めている。
- ・子どもの表情や機嫌、触れたときの体温や食欲を観察し健康保持に務めた。
- ・食事の時は子どもの月齢に合わせた言葉で、よく噛んで食べるように声がけをし、咀嚼の大切さを伝えるように心がけた。
- ・配慮の必要な児についての情報交換、定期的に園全体で話をし、児がより満たされて過ごせるよう対応した。
- ・物を投げて遊ぶことが楽しい時期であることからその姿が見られたが他児への影響が懸念される場合には気をつけるよう注意しながらも本児の遊びに対する思いを尊重することができた。
- ・室内遊びでもふれあいを通して体を動かすことに楽しさを感じられるように接した。
- ・必要以上に声をかけたり援助したりせず、基本的には見守り、子ども達を良く見て手助けを必要としている児には手を添える様にと心掛けた。
- ・怪我や体調を崩してしまった時は素早く対応し、お迎え時または電話で保護者の方に状況を説明した。
- ・すぐに自分から保育士のところに来る子もいれば、人見知りの子もいるのでその子の様子を見ながら関わっていきたい。

#### 《衛生的な環境で日々の生活を送る：保健衛生》

- ・感染症が流行る時期なので、子どもの鼻水を拭いたあとはなるべく手を洗ったり、アルコール消毒をしたりして感染予防に努めた。
- ・保育室内の定期的な換気や温度、湿度調節を行った。
- ・定期的にお散歩カートも消毒し、清潔に保てるようにしている。
- ・食事の時には食事用のエプロンをつけ、手洗い、消毒を徹底している。
- ・嘔吐の際には手袋、ビニールエプロンを着用し処理を行い、終わった後は全身着替えをしてその後の感染拡大を防ぐようにしている。



- ・感染症対策として、おやつ前や給食前に手指の消毒を行った。感染症を完全に防げた訳ではないが、軽減させることは出来ていたと思う。

- ・使ったおもちゃの消毒やテーブル、床の消毒、子どもの手洗い後の手の消毒をする。小さい子が口にするおもちゃや食事に使うテーブル、床、また手洗い後の手も消毒する事によって感染症を防ぐことができる。

《月齢に合わせた援助を行い、やってみようという気持ちを引き出す：身辺自立》

- ・子どもの自分でやってみたい気持ちを尊重し、支度や着替えなどは子どもの様子を見ながら一人でできるように見守った。

- ・毎日の身支度の時間に一人ひとりと向き合う時間を確保し、見守りながらも意欲の高まる声かけを心がけた。

- ・トイレにて排泄ができた子どもに「トイレでできたこと」「トイレに行きたいことを伝えられたこと」を褒めることによって子どもが達成感を味わえるような言葉がけに努めた。(2歳児)

- ・個々の月齢、成長に合わせて着替えなどの援助の仕方を変え、手助けをする度合いも考えて行った。

- ・あともう少しで自分で出来るという所までさり気なく手助けをし、最後は自分で出来た！と思える様に取り組んだ。

- ・オムツやズボンの着脱など、少しずつ身の回りのことが出来るように促した。子どもの発達に合わせて焦らず行うようにした。

#### 【反省】

身辺自立の面では、子どもたちの成長がとても感じられました。子どもたちの「やってみよう」という気持ちを尊重し、出来た時はたくさん褒め、介助したり、時にはそっと見守ったり、個々のペースで焦らず進めてきました。着替えがなかなか出来なかったりした時は、お家でもご協力頂きました。ご家庭との連携をとりながら、自立を促すことも出来、成果が結果として表れています。優しく、温かみのある保育を今後も続けていきたいと考えています。

保健衛生の面では課題が多く残っています。感染拡大を防ぐ為にはどうしたら良いかを再度職員間で協議して参ります。現在毎日行っている玩具の消毒や園内の清掃、消毒を怠ることのないようお互いに監督し、声を掛け合います。保護者の皆様から見て、気になる点がございましたらお声かけください。

### 3.園としての自己評価に関して

- ・当社（全園共通）の保育理念（国際人を育成する）に関して

将来子どもたちが、「国際人として活躍する」ことが出来るように、沢山の経験を五感で感じる事が出来るよう、日々の保育の充実を目標にしています。子どもたちが心も身体も

成長する大切な時期に、大切なお子様の命をお預かりしている事を忘れず、一人ひとりが行動して参ります。また、子どもたちと保育士が心と心で繋がり、安心して笑顔が溢れる保育園を目指して、保育理念に沿って「満ち足りた保育」を提供します。

・当園の保育目標に関して

今回皆様から頂いたアンケートをもとに、全体目標と各年齢ごとに目標を掲げました。この目標に向け、保育を進めて参りたいと思います。

コロナウイルスや様々な感染症の流行で、保護者の皆様にはご迷惑をお掛けする事があると思いますが、引き続きご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。また、保護者の皆様とお子様の成長を共に喜び、共に悩んでいける関係性でありたいと思います。ご意見、ご要望等ございましたら、お声かけ頂けますと幸いです。職員一同、更なる保育のスキルアップを目指し、日々精進して参りますので、来年度もどうぞ宜しくお願い致します。

【アルタベビー美園東園 保育目標】

- ・心も身体も健康で、笑顔溢れる子どもを育てる
- ・人との関わりを喜び、元気な挨拶ができる子どもを育てる

0歳児

- ・同年齢、異年齢のお友だちと関わり、安心して楽しく過ごす事を大切にした保育
- ・自然や動植物に触れ、季節を感じる事を大切にした保育

1歳児

- ・興味、関心を育んでいくことを大切にした保育
- ・「自分でやりたい」という気持ちを大切にした保育

2歳児

- ・子どもたちの主体性を育む保育
- ・お友だちを思いやり、楽しい関りを大切にする保育